

84会報

錦
章
記

発行人 山東 昭子 編集人 松本 末男
(題字 山東昭子会長)

TEL 03-6907-2537 FAX 03-6907-2915

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11
福祉財団ビル5F

会長あいさつ



会長
山東 昭子

「響き」の会報も無事に第八十四号を迎えることが出来ました。これもいつもご支援してくださる皆様のおかげと感謝申し上げます。

今年度は、一回目の読字力検定試験に始まり、全国聾学校絵画展、全国聾学校作文コンクールなど無事に終えることが出来ました。全国聾学校絵画展・全国聾学校作文コンクールともにたくさんの作品の応募があり、またどの作品も力作揃いでました。最優秀賞・優秀賞を取った絵画作品二〇点は、全国聾教育研究大会(今年度は奈良県で開催)にて展示し会場から結果を発信いたしました。また、全国聾学校作文コンクールの作品は冊子を作成し、皆様にお届けしたいと思っています。

四十六回を迎える「聴覚障害児を育てたお母さんをたてる会」は、会場を「タワーホール船堀」として令和六年一月二十一日(月)に開催をすべく準備を進めているところでございます。

第四十一回に秋篠宮皇嗣殿下に御臨席いただいたておりました。そして、第四十二回からは、佳子内親王殿下に御臨席いただき、今年度も佳子内親王殿下に御臨席を賜ります。お母さま方とご家族と共に祝いをしたいと思います。多くのお母様方やご家族、関係者が一堂に集まる式典を開催したいと考えています。

毎年お世話になっている公益財団法人JKA競輪共益資金の補助事業であるFM補聴システム無償貸与は、デジタルワイヤレス補聴援助システムに切り替え実施させていただき、全国から多くの希望者が集まりました。抽選の結果十五名の方に無事貸与が出来ました。全員の方に貸与出来ず申し訳なく思っています。

来年度は、支援金がなく、一回お休みになるかもしれません。

同じく公益財団法人JKA競輪共益資金の補助事業を受け、昨年度から始めた「乳幼児教育相談支援事業」は全国各地の学校から予想以上のご依頼を受け実施しております。昨年度は全国十三校にて実施しました。今年度はすでに実施した学校を含め十六校にて実施いたします。乳幼児教育を専門にしておられる先生方が各学校に赴き、講演をして乳幼児教育のご支援に努め、交流が深まっているところでございます。

年末から年始にかけ、二回目・三回目の読字力検定試験が実施され、四十六回「聴覚障害児を育てたお母さんをたてる会」と第二十五回「全国聾学校合奏コンクール」が開催されます。「全国聾学校合奏コンクール」には十六校(二十三団体)から参加申し込みをいただいています。コロナに負けずに演奏してください。

令和五年度 事業計画

【補助事業】 公益財団法人JKA競輪収益助成事業

- ① デジタルワイヤレス補聴援助システム無償貸与事業
- ② 乳幼児教育相談支援事業

【一般事業】 事業案内

- ① 全国聾学校に協会ホームページ上のリンクを通して事業案内(実施要項)を提示。このリンクからダウンロードして各学校・機関は事業案内を入手する。六月

理事会 令和五年六月十二日
評議員会 令和五年六月十二日

衆議院第一議員会館 応接室にて行われました。

- ① 令和四年度事業報告及び事業報告の附属明細書に関する件
- ② 理事会において承認され、評議員会で報告がなされた。

理事会・評議員会報告

令和五年度

の全国聾学校長会総会で事業説明を行つた。

- ② 「第四十六回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」
令和六年一月二十二日(月)の予定
会場・タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀)
後援・文部科学省、厚生労働省、東京都教育委員会
全国聾学校長会、全国ろう学校PTA連合会
(予定)
- 協賛・株式会社日健総本社 他
- ③ 第二十七回全国聾学校絵画展
審査会・令和五年八月三日
- ④ 第三十五回全国聾学校合奏コンクール
課題曲・自由
- 審査会・第一次 令和五年十月三十日
第二次 令和六年一月十五日
- 表彰式・金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて
実施予定
- 後援・文部科学省、東京都教育委員会、全国聾学校
長会、全国ろう学校PTA連合会
- ⑤ 第十八回全国聾学校作文コンクール
テーマ・自由
審査会・第一次 令和五年八月十九日
第二次 令和五年九月二日
- 調査研究委員会・応募作品の分析研究調査
表彰式・「第四十六回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」で実施予定
- 共催・全国聾学校長会
後援・文部科学省、東京都教育委員会、全国ろう学校PTA連合会

⑥ 読字力検定試験 一回目修了(五四校、七六二名)

⑦ 聴覚障害教育関係資料収集事業

⑧ 会報「響き」の発行 年二回

⑨ 募金活動(ハマナス募金実施)目標額千四百万円

⑩ 法律相談(インターネット等による法律相談)専門図書、ビデオ、DVDの紹介・頒布

⑪ 協会ホームページの公開・更新

⑫ 聴覚障害乳幼児教育相談委員会 関連業務の継続

- ⑬ 令和五年度 役員名簿 (敬称略)
- 理事
(会長) 山東昭子 (副会長) 森伸夫、浅井健一
(専務理事) 松本末男
(常務理事) 木内弘司、齊藤佐和、辻村哲夫、藤本登
(理事) 阿部きみよ、今井絵理子、小川昭子、小林明、
田中美郷、仲田邦男、中村喜久子、平口洋、水谷宣一、
山田春雄
(監事) 関根正浩、二宮征次郎
- なお、長きに亘って当協会の監事をお勤め頂いた本間通義氏は令和四年度をもってご退任されました。当協会のためにいろいろとご尽力いただきまして誠に有難うございました。

就任ごあいさつ

全国聾学校長会長(東京都立中央ろう学校長) 木村 利男



令和五年度、全国聾学校長会長に就任し、貴協会の評議員に就任をいたしました。

私は、これまで、聾学校にて、手話等でコミュニケーションを行つてきました。その後、行政実務を経験し、管理職として他の障害者(盲、肢体、肢知併置、肢病併置)をも経験し、昨年、十七年ぶりに聾学校で勤務することとなりました。かつての教え子が保護者や教員になつて再会する感動もあり、月日の経つ速さを実感しています。

さて、ご存じのように、全国には、全国聾学校長会に加入している、聾学校、聴覚障害特別支援学校等が八十八校あります。新たな校長先生方とこれまで長年、聴覚障害教育に携わりご尽力いただいた校長先生方とともに力を合わせて、全聾長会を盛り上げ、児童生徒が夢や希望をかなえることができるよう教育内容、教育環境を整え、「打つてでる聾学校」を目指し、改革を前に進めて行きたいと存じます。

現在、聴覚障害教育の専門性向上に重要な役割を果たしている全日聾研、今年は奈良県で大会が開催されました。また、各地区においても研究会が設定され、研究・研修に努め、専門性の維持向上に向けて取組んでいます。今年の全国大会は、全国聾学校陸上大会が埼玉県熊谷市、全国聾学校卓球大会が愛知県名古屋市で開催され、生徒は自分自身の力を十二分に發揮していました。今後とも引き続き、生徒のみなさんの充実した教育活動の実現に向け、全国聾学校長会は一丸となつて対応してまいります。どうぞよろしくお願いします。

事務局 (事務局長) 東隆治 (事務主事) 小針丈幸



初めまして、先輩諸氏の皆様方に対し、ご挨拶させて頂きますことに対し、心よりお礼申し上げます。先日旧知の藤本様から聴覚障害者教育福祉協会の理事となることについて、お説明を受けました。また、会長の山東昭子先生には日頃よりご指導を賜つてまいりました。

現在、理事職はNPO法人日本モンゴル親善協会と一般財団法人DEVNET Japanの二か所です。過去の勤務は、家具のイトーキ、コクヨと物流業界のSBSホールディングスで、ほぼ国内での仕事がメインで民間企業を卒業してから、外務省の勉強会に入り日本トルコ協会の個人会員、国際問題研究会に個人会員として国際関係に興味をいただいてまいりました。

最近は、ベルギー発の視覚障害者向けスマホの横断歩道信号機感知システムの日本での導入へのお手伝いとか、タイ国のクラ地域に運河を計画し、ドイツ初のインクによる太陽光発電装置の離島対策等々をお手伝いしております。何分、聴覚障害の事については、不勉強なもので申し訳ありませんが、公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会の発展に少しでも寄与するように頑張つてしまりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

評議員就任にあたり

柴田祐一

この度評議員に就任しました、柴田祐一と申します。宜しくお願い致します。

私は千葉県の筑波大学聴覚特別支援学校の中学校部に通う生徒の保護者であり本年度よりPTA会長を拝命し、本協会の評議員に就任のお話をいただきました。



PTA活動についても前任会長からの引継ぎや、各種行事役員会の仕事を勉強中であり当協会についての知識や経験もございませんので、評議員については先輩方、事務局の皆様にご支援ご指導いただき任期を務める所存です。

私の長男は生まれてすぐの検査で先天性難聴が判明しました。初めての子供で子育ても初めてに加え難聴についての知識もなく、私も妻も不安な気持ちで過ごしていました時期が思い出されます。今後は子供たちの将来の自立に向けた教育、環境作りに少しでもお役に立てるよう活動してまいります。

私は今までの経験から聴覚についての知識共有、相談できる環境が特に幼稚期においては重要であり、保護者の不安を和らげるためにも本協会からの情報を活用し多くの皆さんに寄り添うことを継続し、子ども達が将来自立し社会に出たときに周りの方に理解されるよう外部に向けての広報活動を行い、また、子ども達を取り巻く環境、社会の変化に対応し学校、家庭、協力団体の各方面で支えあい、補完しあう関係が出来ればと考えております。

弁護士法人NJ総合法律事務所 弁護士

二宮 征次郎

今般、山東昭子先生のご紹介により、新しい監事としての役割を担うこととなりました。山東先生とは中

学校以来の知り合いで色々お世話になつてきましたが、先生が会長を務められる本福祉協会の業務の一助にでもなればとの考えから監事就任をお引き受けした次第です。私は大学卒業以来

弁護士としての社会生活を送つており、企業の海外活動に伴う紛争の処理や貿易、海事法、海上保険等を主たる分野として仕事を行つてきましたが、聴覚障害者教育については特段の知識を有する者ではありません。しかし、これまでの人生経験に伴う知識を生かして、幾分かでもお手伝いしていく

今年度の全国聾学校絵画展は、八月三日（月）審査が行われました。

第二十七回 全国聾学校絵画展

・幼稚部・小学部門 三七二点

・中学部・高等（専門科含む）部門 一〇四点

絵画展最優秀賞（二点）並びに優秀賞受賞作品（二〇点）は、令和五年度第五十六回全日本聾教育研究大会（奈良大会）会場において展示されました。

協会の事業

●令和五年度 第一回読字力検定試験

本年六月実施の読字力検定試験の結果は、左記の通りでした。第二回（現在実施中）、第三回（二月）でも、受検生のみなさん、頑張ってください。

・受検学校数 五十四校

・受検者数総数 七六二名

・合格者 五三三名

・級別合格者数（受検者数）

九級..一〇一（八三） 八級..九五（五〇）

七級..一〇〇（四四） 六級..一〇一（六七）

五級..七八（六二） 四級..九四（八七）

三級..八〇（五〇） 二級..六八（五六）

一級..二七（二三） 特一級..十六（一〇）

文部科学大臣賞 表彰式の様子

山東昭子会長より表彰状を受け取る受賞者

島田康平君（島根県立浜田ろう学校）



(島根県立浜田ろう学校にて)

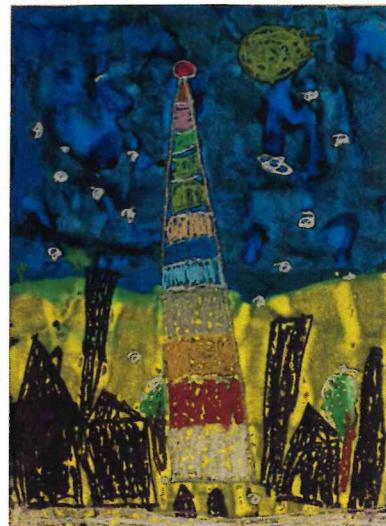
優秀賞受賞者

満留悠斗（鹿児島）	河野太咲（大分）
三根理央奈（神戸）	松本龍乃丞（熊本）
佐藤遙威（明暉）	森大志（熊本）
河邑みつえ（葛飾）	小濱修聖（立川）
鈴木心空（沼津）	渡邊心（山梨）
櫻田栞宥（青森）	桐山玲奈（浜田）
馬場海帆（沼津）	渡邊にこ（熊本）
佐々岡希花（浜田）	畠雪乃（筑波）
仲田恭乃（水戸）	児玉湖春（浜田）

優秀賞作品は本協会ホームページのトピックスの中にありますので、ご覧ください。6ページにQRコードがあります。

最優秀賞（中学部、高等部、専攻科部門）

文部科学大臣賞
・島根県立浜田ろう学校 中学部三年 島田康平
「夢の水先案内人」



最優秀賞（幼稚部、小学部 部門）
「スカイツリー」
・東京都立葛飾ろう学校 小学部一年 湯澤光梨



○ 幼稚部・小学部部門

最優秀賞の作品は小一の湯澤光梨さんの「スカイツリー」、ブルーとイエローの色の対比が美しく、夜空にそびえる多彩なスカイツリーと月と星の情景、見る人が楽しくなるするできな絵です。優秀賞は十一名の作品が選ばれました。幼二の満留悠斗さんの「らいおんだ！がおーっ」、大きな口から何かを叫ぶのを黒いギザギザの線が暗示しているようで、色彩もおだやかです。幼三の河野太咲さんの「さんかしょうもらつた」、全体に柔らかな色彩に黒い線が何かを物語る抽象的な絵です。幼三の三根理央奈さんの「オオサンショウウオ」、大胆で存在感のあるサンショウウオが楽しげに泳いでいます。幼三の松本龍乃丞さん「えさをたべるかに」、画面いっぱいに生き生きとした大きなかにの迫力が伝わり深いブルーの色が引き立てています。小二の佐藤遙威さん「ゆらゆらきもちいいね」、一目見ても抽象画でいい、すばらしい色彩感覚です。小二の森大志さん「泳ぐカラフルカメさん」、想像もできない多彩な色カメの泳ぐ動きが面白く描かれています。小三の河邑みつえさん「ふしぎな世界」、赤っぽい紫と淡いブルーの柔らかな色彩に動物でもいるのかな、不思議な抽象っぽい絵で楽しいです。小四の小濱修聖さん「わくわくする木」、迫力のある大きな木が深いグリーンと溶けあい力強い生命観を感じます。小五の鈴

年は四一五点で六一一点増えた事になります。今回から審査基準に一部見直しがあり、優秀賞は（最優秀賞含む）一六点から二〇点に増やされました。今年もコロナ感染症がまだおさまらない状況の中、応募作品が増えたことは生徒達の情熱、意欲、先生方のご指導、ご尽力に感謝申し上げます。

いつものことですがどの作品も甲乙つけがたく紙一重の差があつてどれを選ぶか苦労します。作品を選ぶ時、あつこれはいい絵だなというだけで選ぶ時もあり、数点の中から一点を選ぶ段階になつた時は審査員五人の主觀と挙手で決まります。それでは講評に入ります。

全国聾学校絵画展審査総評

木心空さん「天気のかさ」、カラフルなかさの色、雨の降る線がリズミカルで楽しいです。小六の渡邊心さん「広場の思い出」、グリーンの色がきれい。左奥にある一本の木が画面全体を引きしめている構成です。

小六の櫻田栄育さん「感動した函館の歴史」、黄とこげ茶のがつしりとした重厚な建物が細密に描かれ、左下の人物の配置の存在がバランス良い構成です。

○ 中学部・高等部部門

最優秀賞、文部科学大臣賞は中三の島田康平さんの「夢の水先案内人」、猫が何かをにらむするどい目付き、前右足をそつとあげる仕草の描写に脱帽。最初この絵を目にした時、最後まで残るなど確信したほどの傑作です。優秀賞は七名の作品が選ばされました。中一の馬場海帆さん「幸福の英雄ダコ」、想像もしない色彩感覚と構成に驚くほどすばらしく中一とは思えないレベルの高い作品です。中一の渡邊にこさん「my friend」、人間の顔を常識的な描写でなく抽象っぽく独特で存在感のある絵です。中二の佐々岡希花さん「玉葱」、モノトーンで玉葱が仲間に何かを語りかけている様が微笑ましいです。高一の島雪乃さん「筋の光」、白い光が周囲の木や植物たちの嬉々とした情景が見られ色感も良いです。高三の仲田恭乃さん「夏の記憶」、夏の海、花、果物のさまざまな描写が映写的に構成されているのが見事です。高三の児玉湖春さん「人気者!!」、さわやかなブルーとグリーンの中で白い花たちが何かを叫び競い合っている姿が楽しそうです。以上講評を終わります。

今回も激戦の中ですばらしい作品から色彩感覚、発想の自由さ、感性の豊かさに刺激を受け私自身勉強になりました感謝しております。絵の好きな全国の生徒の皆さん、来年もすてきな絵を沢山出品していただけるように、先生、父母の方に生徒の感性、能力を伸ばす環境作りにも協力をお願い申し上げます。良い絵に出会えることを楽しみにしております。

ひびき No.84

(5)

第十八回 全国聾学校作文コンクール

全国聾学校作文コンクールの結果は左記の通りです。応募総数一二〇点（小学部五十六点、中学部三十点、高等部・専攻科二十八点）でした。

六点、高等部・専攻科二十八点）でした。

六点、高等部・専攻科二十八点）でした。

金賞・文部科学大臣賞

東京都立中央ろう学校

中等部一年 新井 翔子

金賞・全国聾学校長会会長賞

東京都立中央ろう学校

高等部一年 齋藤 瑛一郎

金賞・聴覚障害者教育福祉協会会長賞

群馬県立聾学校

小学部六年 齋藤 輝

銀賞

山口 璞癒（板木）

小曾 翔栄（板木）

甲野 謙治（筑波）

金田 奏（筑波）

鶴留 悠起（筑波）

鈴木 健二朗（浜松）

銅賞

井上 楓（筑波）

高橋 日翔（筑波）

古畑 七奈（筑波）

後藤 沙希（葛飾）

二角 凜子（石川）

松井 未緒（浜松）

● 桜内義雄賞

桜内義雄賞は、聴覚障害者の教育と福祉に尽力された多大な功績に感謝し、桜内義雄会長就任二十五年を記念して設けたもので、障害を克服し社会的貢献の著しかった聴覚障害者に贈る賞です。今年度の桜内義雄賞受賞者はまだ未定ですが、平成六年一月二十二日に開催される「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」において表彰いたします。

ハマナス募金

当協会の事業は、公益財団法人JKA競輪公益資金の補助をはじめとして、皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。

皆様方のご理解とご支援に深く感謝しております。

今年度も計画事業の適正な実施に努めているところですが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第四十六回 聴覚障害児を育てる会 お母さんをたたえる会

「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は今年度で四十六回を数えるまでになりました。ここ数年

にいましたが、昨年度は佳子内親王殿下をお迎えして

式典を開催することができました。今年度は「タワー

ホテル船堀」のホールにて式典を開催いたします。

今年度もたくさんのお母さん方やご家族の方々の推薦をいたしました。一月二十二日（月）に式典を開催いたしますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もしくは銀行振込にてお願いいたします。

郵便振替口座 00110-9-134877

名義 聴覚障害者教育福祉協会

銀行振込 みずほ銀行江戸川橋支店

普通口座 1615748

名義 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

会長 山東昭子

期日 令和六年一月二十二日（月）

場所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）

主催 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

後援 文部科学省 厚生労働省 東京都教育委員会

全国聾学校長会 全国聾学校PTA連合会

協賛 株式会社日健総本社 他

当協会は、平成二十四年四月六日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受けております。

令和五年四月一日から九月末までの間に、次の皆様方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

（敬称略）

木内弘司、株式会社日健総本社（森伸夫）、谷口昭子、一般社団法人日本伝統文化協会（野崎正史）、仲田邦男、阿部きみよ、関根正浩、田中美郷、荒崎勝美、加来裕年、中村喜久子、宮下たつ江、ライシャワ・クレー・マ学園、山田春雄、全国難聴児を持つ親の会（田中眞由美）、久米武郎、永田一博、薄井博之、本間通義、北義子、古橋靖夫、神辺洋吾、辻村哲夫、赤松博司、北原一成、日地谷晃、西村廣一、株式会社P.M.JAPAN、群馬県聴覚障害者親の会、山崎龍弥、原田佳定、北海道高等聾学校、本橋源己、茨城県水戸聾学校PTA、近畿調査株式会社（武健一）、石川庄六、リオン株式会社、長野県長野ろう学校（内山和久）、齋藤佐和、橋本愛、橋本彩夏、鈴木茂樹、小野寺正和、日本補聴器販売店協会

難聴幼児通園施設に在籍、在園する幼児・児童・生徒の家庭に貸与

（二）乳幼児教育相談支援事業

本事業は、聴覚障害乳幼児のための支援活動を行っている教育機関や療育機関に対して、本協会から経験豊かな指導者を派遣し具体的な支援の在り方にについて講義や具体的な指導内容についてのアドバイスをすることで親御さんや指導に携わる指導者がより深く広い視点を持つことができるようにするための支援事業です。

●お悔み

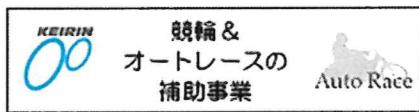
・理事 桑山哲夫氏 令和五年五月八日ご逝去
・評議員 木村澄蔵氏 令和五年五月二十五日 ご逝去

当協会に多大なるご貢献をいただきました。ご冥福をお祈りするとともに、ここに謹んでご報告申し上げます。

ホームページをリニューアルしました

昨年度から協会のホームページをリニューアルしました。スマートフォンの普及に伴い協会のホームページもスマートフォンで見られるようリニューアルすることにしました。それに伴い、中身のデザインも一新しました。「事業案内」もホームページからダウンロードしてお使いいただけます。まだまだ変えなければならぬところもありますので、ご意見お待ちしています。

- （一）デジタルワイヤレス補聴援助システムの購入・無償貸与
- （二）事業実施内容



送信機・受信機十五セット
全国聾学校・聴覚特別支援学校、小学校、中学校、
難聴幼児通園施設に在籍、在園する幼児・児童・生徒の家庭に貸与

編集後記

新型コロナウイルスが五類になり、街中からマスクをしている方が少なくなりました。電車の中では、やはりマスク姿が見られます。最近は子供たちを中心インフルエンザも流行っています。どうぞお気を付けください。
今年度は六月に理事・評議委員の合同総会を三年ぶりに顔を合わせて開くことが出来ました。各事業につきましてはコロナ前に戻り順調に進めることができます。第一回目の読字力テストは終わり、現在は二回目の採点に力を注いでおります。
また、絵画展、作文コンクール等の事業も実施することが出来ました。合奏コンクールも第一次の審査が終わり第二次審査へと順調に動いています。
さて、今年度は新たな事業が加わり来年度から本格実施となるかもしれません。東京都の中に新生児のスクリーングテストを受けてリファーと告げられたお母さんたちとそのお子さんを対象に東京都の保健局が「東京都こどものきこのセントラル」を計画しており、本協会への委託へと動いています。
さて、先にも触れましたように第四十六回となる「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」はタワー・ホール船堀で実施すべく動いています。実施の際はご協力の程よろしくをお願いいたします。

